



## 「オービックシーガルズ海外遠征に伴う市長表敬訪問」について

問合せ：商工振興課 担当者 藤原、松本 (453) 7396

習志野市茜浜にあるグラウンドを本拠地としている「オービックシーガルズ」が本市の姉妹都市であるアラバマ州タスカルーサ市へ海外遠征を行うにあたり、市長を表敬訪問します。

日時：平成26年8月8日（金）午前11時～11時30分  
場所：習志野市役所仮庁舎4階 委員会室

（オービックシーガルズ出席者）

並河 研 社長兼GM、大橋 誠 ヘッドコーチ、富樫 司 アシスタントGM  
古庄 直樹 主将、ケビン・ジャクソン 副将、渡辺 雄一 選手  
バイロン・ビーティーJr. 選手、ケアラカイ・マイアバ 選手  
運営事務局：渡部滋之 氏、脇田 雅史 氏

オービックシーガルズは、現在、5年連続日本一を目指し、猛練習を続けております。

今回、シーズン開幕前の強化合宿として、平成26年8月11日（月）から16日（金）まで、本市の姉妹都市であるアラバマ州タスカルーサ市へ海外遠征し、14日（木）にセミプロリーグAPDFL選抜チームと対戦します。

タスカルーサ市にはフットボールの強豪校アラバマ大学があり、アメリカの中でもフットボールがとても盛んな街です。

今回の海外遠征は、オービックシーガルズの名誉応援団長でもある宮本泰介市長がフットボールに対する熱意を込めた親書をタスカルーサ市長に送り、本市とタスカルーサ市の国際交流を支援しているタスカルーサ市姉妹都市委員会のリサ常務理事の協力のもと、国際交流の一環としての親善強化試合開催が実現したものです。

※APDFL：Amateur to Professional Developmental Football League

アラバマ州、ジョージア州、フロリダ州、サウスカロライナ州を中心に活動する35チームからなるセミプロリーグ

### 大橋ヘッドコーチ コメント】

過去2シーズン、「未知との遭遇」を求め欧州遠征を強行し、多大な刺激を受けてきたオービックシーガルズですが、いよいよ今シーズンは、フットボールの本場、アメリカへ渡って、アメリカのチームと戦うことになりました。

まずは、この試合を実現させていくにあたって、並々ならないご助力をいただきました、習志野市及びタスカルーサ市関係者の皆様に、心から御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

習志野市とタスカルーサ市が、姉妹都市であったということが、どれほど我々にとって幸運だったか、計り知れません。その関係があったからこそ、オービックシーガルズが、あのアラバマ大のホームタウンで試合をすることができるのです。

フットボールに関わった人間であれば、誰しもアラバマ・クリムゾンタイドが特別な存在であることは知っているでしょう。15回の全米チャンピオン獲得は史上最多、最近でも2009、2011、2012シーズンに全米タイトルを獲っています。

そんな、フットボールの王道を目の当たりにし、王者を育ててきた風土を感じながら生きてきたプレーヤー達と戦うのです。まだまだ、こんなにワクワクするを経験できるんだと、感謝の気持ち一杯です。

今回の対戦相手については、わからないことだらけですが、はっきりしているのは、フットボールで絶対に負けられないというプライドを持ってこちらを潰しにくるということ。それに対して、我々は臆すること無く、今シーズン目指している我々のフットボールにプライドを持って、全力で戦います。「MY TEAM MY FOOTBALL」に込めた思いを、爆発させてきます。